有水中学校だより

HPのQRコード

令和7年1月8日

☆ 新たな年の幕開け！強い想いを心に秘めて

新年、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

学校は、いよいよまとめ・仕上げの学期となりました。生徒たちが年末・年始、事故もなく過ごせたこと、とても嬉しく思います。３年生は、いよいよ大詰めの学期となります。ここからさらにラストスパートをかけてくる人たちも多くなり、「平常心で」といくら言っても、初めての経験です。最後まで走りきるためにも、気持ちと体調管理をしっかりとしていってほしいと思います。

さて、３学期の始業式で、学年代表が、学期の抱負を話してくれました。

１年生の今別府君は、「人に流されず行動」「何事も自分から進んで」という目標を発表しました。自己分析をしながら、自立を意識した素晴らしい発表で、学級副委員長としても、学級をサポートして、次の学年に繋げたいと話してくれました。

３年生の森山君は、受験に対する不安についてどう対応していくかを発表しました。「生活習慣を整える」「学習の効率化を図る」と自分を客観的にみて、具体的にどう行動していくかを見据えた発表でした。生徒たちは、新しい年を迎え、志を新たにしているなと感心しました。

☆ 当たり前の日常を大切に ～ 始業式 校長の話から

＜何気ない日常を大切に＞

昨年の１月１日に石川県で大きな地震があり、家屋が倒壊するなど甚大な被害が出ました。「正月という家族が、集い祝う場で」と考えると本当に心が痛みました。また宮崎県でも竜巻や日向灘沖地震で、各地域に大きな影響を受けました。

私は、当たり前に年末年始を過ごせること、またこうして皆さんと会え、次に向かって頑張ろうとできることに、感謝をしたい。もし、地震によって、今までのように家族と笑顔で過ごせなくなったら。大きな病気をして、未来への不安を感じてしまうことがあったら。そう思うと普段何気なく過ごしている毎日が、その当たり前が、とても貴重で尊い事である。日常を大切にして生徒の皆さんと一緒にこの１年頑張っていきたい。

＜もう一つの考え方をもつ＞

身長167cm、体重97kgという、幕内力士の平均身長183cm、平均体重 157kgを大きく下回る体格の炎鵬関は、幕内最小の力士として他の力士と互角に渡り合っていました。2023年１月に右目の眼窩底骨折、５月には頚部椎間板ヘルニア悪化、実は脊髄損傷の重傷でもあり、医者からは「日常生活に戻るため相撲はあきらめてください」と宣告を受け、２週間の入院中は寝たきりだった。そんな炎鵬関の復活劇の根底にある人生の考え方・相撲道について話をしました。

起こっていることは変えらないが、プラスの考え方で、違う発想や工夫によって、より良い結果に変えられるように努力していく。「ピンチ」を、「自分を高めるためのチャンス」ととらえ、挑戦していく。これから、自分の道を進んでいく上で、とても大切な考え方になるのではないでしょうか。